

特集

実測で学ぶ

法政大学小堀研究室と4つの大江宏建築

建築ジャーナル

2024年
11月号
No.1361

実測から現代社会へ、調査が生み出した真実。
時間の中にも増もれてしまったものを発見し、
その背景を考察することによって建築の楽しみ方を知る。
そしてそれは創造のための刺激へとつながっていく。
大江宏の4つの建築を通して、法政大学小堀研究室の実験。

〈特集〉

石井理夫	今村朝平
猪野志	柳若幸子
大江剛	宮多直一
小堀哲夫	坂内晋二
鈴木若夫	岡根康成
榎田元治	西藤守太
長島明夫	早川祥石
高木ルイザ	日笠直彦
藤本竜也	藤本貴子
保田佳美	松本 清
三浦寿輔	山田明子
寺藤裕弘	渡邊悠徳

〈連載〉

五十嵐太郎	水島 信
伊藤 潤一	山本理顕
山崎 亮	

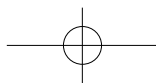
田宮哲彦	藤原哲哉
竹村英明	山口あすろ

〈建築〉

伊東豊雄建築設計事務所
 深澤日本建築設計
 吉野デザイン建築設計事務所
 しみのりの空間工房
 山下貴成建築設計事務所
 久保都島建築設計事務所
 BAUM
 平井直樹建築設計事務所
 inoto architects 一級建築士事務所
 AAarchitects + MOEY 建築設計事務所
 白根誠建築設計事務所
 キューブデザイン建築計画設計事務所
 石川素樹建築設計事務所
 PRIVATE 建築設計事務所
 渡辺有限建築企画事務所
 アンドゥ設計事務所
 風上計画
 S.U建築設計
 綜合興設計

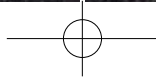
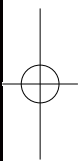


©・坂口基平



PRIVATE

ARCHITECT STUDIO

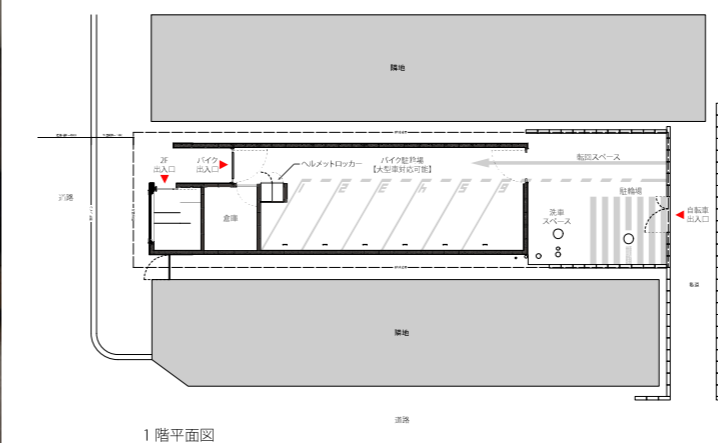
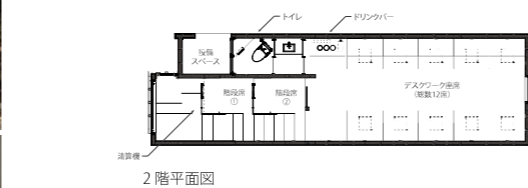




夏木立の家

八ヶ岳高原の森の中に建つ、正方形を斜め2つ折りにし勾配をつけたシンプルで大屋根の別荘。屋根は降り積もる葉や雪を出入口側に落とさず裏側に流し、危険や劣化から守る。屋根がつくり出す山並みのようなシルエットは、室内の人の存在を覆い隠す役割も担う。自然物と人工物の境界を曖昧にし「自然に包まれる」別荘の提案。

所在地 長野県南佐久郡
 設計協力 構造：中村博雄（博工房）
 施工 素朴屋
 構造・規模 W造地上2階（一部S造）
 敷地面積 1,860.07㎡
 建築面積 138.26㎡
 延床面積 112.07㎡
 竣工 2024年9月
 撮影 小島純司（45g Photography）



隣学 セルフカフェ + 駐輪場

老朽化が進んだ木造店舗を改修し、近隣住民が気軽に利用できる、ワーク・学習スペース&バイク駐輪スペース。「古材と新材を混ぜ合わせ、使えるものを見直す」という視点で計画を行うのと同様に「プロダクト製品」の「復刻版」さながら、これまで建築分野では扱われなかった規格外の素材に光を充てデザインを施した。かつての良いデザインを見直すことで「昔ながら」を受け継ぎながら「新しさ」へと生まれ変わらせた。

所在地 千葉県船橋市
 設計担当 意匠：永瀬尚宏
 設計協力 意匠：佐藤駿（ST.RANGE）
 施工 日本宅建ホーム
 構造・規模 W造地上2階
 敷地面積 70.81㎡
 延床面積 75.97㎡
 竣工 2024年9月
 撮影 小島純司（45g Photography）